

One Kobe Family

神戸大学基金 趣意書

神戸大学の未来に向けたチャレンジに
ご支援をお願いします



ひとりひとりが輝き、世界に誇れる神戸大学を目指して ～神戸大学基金へのご協力をお願いします～

日頃より神戸大学の研究・教育、ならびに社会貢献活動へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

地球環境問題の深刻化、国際情勢の不透明な見通しなど世界的変動が続く中で、生成系AIをはじめとする、グローバルな情報化社会への急激な進展に向けての取り組みが加速しています。また、国内では少子高齢化の進行への対応など、社会構造そのものの変革を伴う対策が一層活発になってきています。

このような社会の変化の中で、神戸大学は「異分野共創型の先端的卓越研究教育グローバル拠点」を構築することを目標に掲げ、スピード感を持ち改革に挑戦しています。学術的な文理融合にとどまらず、異分野共創により世界をリードする新しい先端的分野を確立し、また産官学共創の場としての研究・教育の革新的基盤を創出してきています。既に、新しいコンセプトの学部・研究科の設置、本学ならではの知見の集積や研究人材のコラボレーションを可能にする組織の新設など、研究・教育面の深化と地域社会や国際社会への貢献を目指す、新たな価値を生み出す取り組みを次々行ってきています。

また、本学が担うべき責務として、研究成果の社会への還元、新時代のリーダーシップやイノベーションを負託する人材輩出といった社会的貢献を念頭に広く社会、ならびに本学に所縁を持つステークホルダーの方々のご期待にお応えできるようよう努力してまいります。2024年3月に期間を終了した「神戸大学創立120周年記念募金」では、皆様からの大学への深い思い、愛情を感じる事が数多くございました。このような皆様からの格別のご厚意に、私ども一同、感謝しながらこれからも神戸大学の発展に取り組んで参ります。

本学では、大学のさらなる発展に向けた様々な目標を実現するために、学内の機構・制度の改革や新設を行うと同時に、科学研究費・受託・共同研究費などの外部資金の獲得と、神戸大学基金の充実に全学一丸となって取り組んでいるところですが、ご承知のように、国立大学を取り巻く環境は極めて厳しく、学外の皆様との協力関係や、本学へのご支援が、大学の健全な運営には欠かせないものとなっています。中でも、経済的困窮や厄禍により学業継続に困難をきたす学生への支援、博士課程進学者や若手研究者への経済的支援をはじめとする教育・研究環境の向上、海外留学・派遣、海外留学生の受入れ、課外活動やボランティア活動への助成、キャンパスライフの充実などを図るためには、神戸大学基金のさらなる財政的基盤強化が必要不可欠です。

神戸大学で学ぶ学生、そして大学の発展のために、皆様からの一層のご厚情を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

神戸大学長

蔭澤 正人

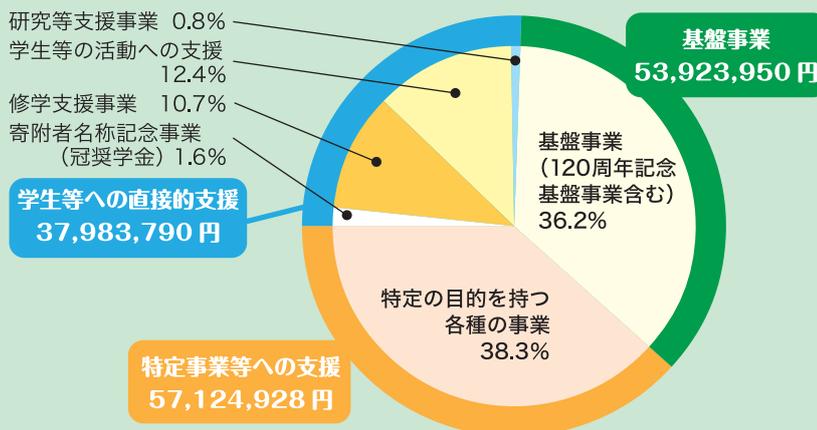


神戸大学基金に多くのご支援をいただき、ありがとうございます

2024年度、神戸大学基金に
149,032,668円(寄附講座・運用益を除く)
のご寄附をいただきました。
誠にありがとうございました。

ご寄附の内訳 (2024年4月～2025年3月)

法人	26件	14,683,000円
団体	8件	1,946,578円
個人	1,961件	118,565,048円
古本募金・クラウドファンディングなど		13,838,042円



神戸大学の外部資金獲得と神戸大学基金

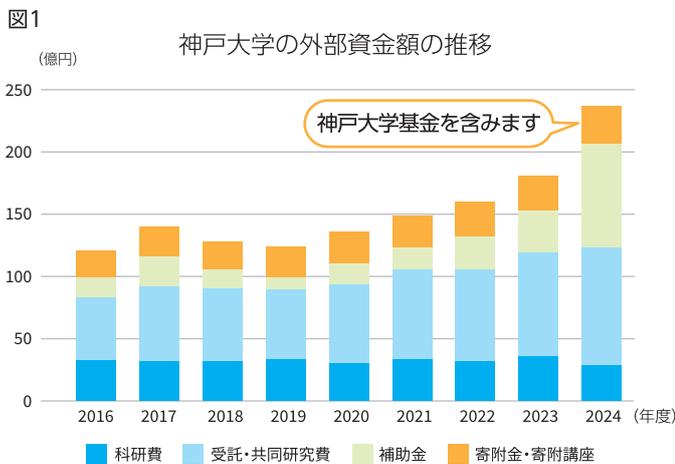
～“知と人と創る異分野共創研究教育グローバル拠点”へのプロセス～

神戸大学の未来に向けたチャレンジを支えるために

神戸大学は、2030年度に到達すべき目標として、真理探究の基礎科学研究、地域社会と共創する応用科学研究の推進・連携により、新たな知と人を創り社会に貢献する異分野共創研究教育グローバル拠点となることを定めています。その実現に向けて、経営資源の精査と効率的活用に加えて、科研費や受託・共同研究費と補助金等の外部からの資金の積極的な獲得、そして皆様からのご寄附による神戸大学基金の活性化を図ってまいります。これら自助努力と関係各位から賜る多大なご支援により、本学が受け入れる外部資金は増加傾向にあります(図1)。

これらの外部資金のうち、本学が推進する各種の事業・活動(次ページでご紹介します)を支援するのが神戸大学基金です。図2は、2016年度以降に皆様から賜った、年度別のご寄附の金額と件数です。2020年度の個人件数が際立って多いのは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急募金に多くの方からご援助いただいたことによります。また、2019年12月から2023年度末まで行った『神戸大学創立120周年記念募金』には、これまで以上に多くの企業・団体の皆様からご理解とご協力を幅広くいただきました。半面、記念募金の期間が終了したこともあり、2024年度は過去9年間では金額・件数とも最少となりました。

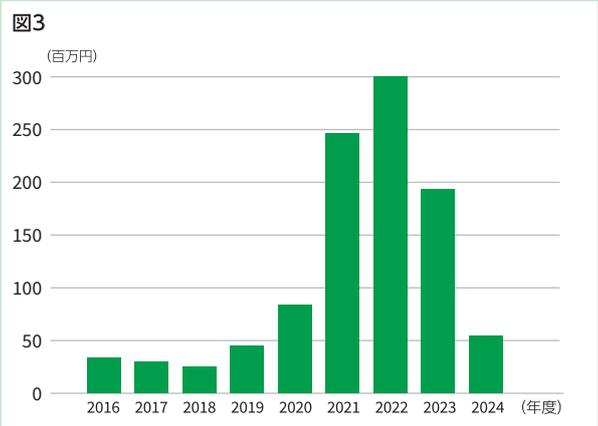
本学における研究・教育の高度化と環境の向上、学生等への直接的支援により、人材育成と学生生活の援助、地域社会や国際交流への貢献などを実現するために、神戸大学基金は各種の事業・活動を安定的・継続的に支援してまいります。その堅固な基盤を築くために、皆様のご理解とさらなるご協力を賜りたく存じます。



基盤事業への一層のご支援をお願いいたします

図3は、各種の事業・活動のうち、基盤事業への支援をご指定いただいたご寄附の額の推移です。基盤事業は、“知と人を創る”ことで本学が担うべき社会的責務を全うし、学術成果の社会還元と社会に貢献する人材を輩出する目的を持っています。

特に、学生の学修・研究・キャンパスライフの環境面の整備や、研究・教育のレベルアップのための制度拡充、また特に大学院で研究を進める院生への経済的支援の充実を図るために、基盤事業に寄せられたご寄附を活かしています。将来にわたりサポートを継続するにあたっては、単年度のみならず原資の蓄積と運用が必要です。さらに大きな取り組みを推進するために、引き続き基盤事業へのご助力を重ねてお願いいたします。



基盤事業

神戸大学が進める研究・教育の充実、社会的活動の推進、研究・教育環境の向上などを図る上で、大学の運営費からの支出を充当できない分野について、神戸大学基金が財務面でのサポートを行っています。

①学生の課外活動・ボランティア活動への助成

スポーツ・文化・社会的活動などを行う、神戸大学の課外活動団体の活動費を助成しています。キャンパスライフの充実や学生の人格形成の上で、これら課外活動やボランティア活動の活性化は重要です。また、社会への貢献、リーダーシップの醸成などの点でも活発な活動が望まれます。活動拠点となる部室や練習場所等の環境整備も欠かせません。特に、部室棟でもある鶴甲キャンパスの学生会館（1966年建築）など、老朽化が進む建物の補修が必要です。



②海外派遣・留学を体験する学生への費用給付

神戸大学では、グローバルセンスを磨き、国際的競争力を身につけ、学修・研究に役立てることを目的とする「神戸グローバルチャレンジプログラム」を実施しています。国際港湾都市として発展した神戸で、多くの先人が海外に飛躍してきた伝統を受け継ぐ意欲を応援します。参加者の渡航・滞在についての経済的な不安を払拭するために、費用の一部に充当できるよう給付制度を設けています。



③本学が受け入れる海外留学生への経済的支援

神戸大学で学び、研究する外国人留学生は、年度により異なりますが約1,000人を数えます。外国人留学生は、日本人学生にとって異文化交流や国際感覚獲得の上で大きな刺激となる存在でもあります。留学生の神戸での学生生活を支援し、国際色豊かなキャンパスライフを保つことは本学のダイバーシティ推進の面でも有益です。留学生が経済的困難から学修・研究の継続を断念することがないように、支援体制を整えています。



④大学院生（博士課程）への経済的支援

社会の望ましい方向への進展に向け、大学院研究科での高度な研究はこれまで以上に重視されています。一方、しばしば報道されるように大学院生をめぐる生活や研究の環境は厳しい現実があります。大学院生が不安なく研究に打ち込み、優れた成果を生み出すことをサポートするために、対象を博士課程在籍者（約1,500人）に特化した支援制度を設けます。



⑤その他

これらに加えて、本学での研究・教育のレベルアップ、学生・大学院生・留学生などの生活環境の向上、本学の附属・関連機関の利用環境の改善などに資する目的のために、学内での検討を経て神戸大学基金を活用します。特定の学生を対象とした、寄附者のお名前を冠する奨学金制度もあります。

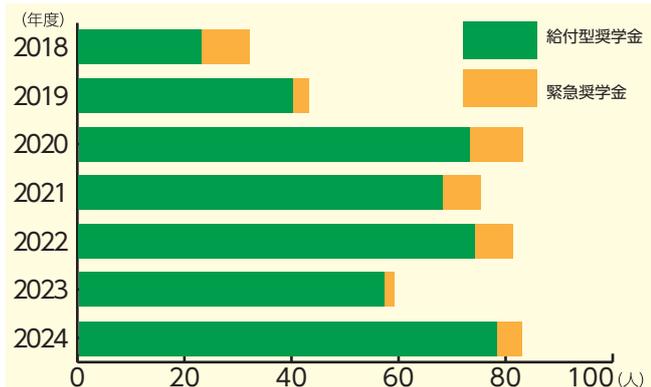


修学支援事業

経済的事情から学修・研究の継続や学生生活の維持が難しくなることがないように、学業条件を満たす学部1年次生への給付型奨学金と、自然災害などの罹災や家計維持者・学費負担者の不慮の出来事などにより経済的サポートを必要とする学生への緊急奨学金の給付制度を用意しています。加えて、2025年度より、障害のある学生等への個別の障害に応じた合理的配慮を実現する環境を整えることに、本事業から支援できるようになりました。



■ 神戸大学基金からの奨学金の給付者数 ■



※給付型奨学金は1人あたり15万円、緊急奨学金は1人あたり25万円を、申請に基づき給付します。

研究等支援事業

神戸大学に求められる専門的研究の深化・高度化と、その学術的成果の社会還元を促進するために、2025年1月にスタートした若手研究者の研究活動を支援する事業です。長期的で広範な研究が必要な分野、外部資金を調達しづらい分野、社会的意義を持ちながら研究継続が困難な分野などに、アカデミックな学究を進めるための財政的支援が必要とされています。また、“ポストク”問題ともいわれる、雇用面や生活面で不安定な環境に置かれている若手研究者や学生に対し、研究助成を行います。本学で安定的に研究を継続し、大きな成果を生み出すことを期待しています。



使途特定事業

神戸大学の学部・大学院、研究拠点・センター、学校・園や病院などの附属機関、ならびに大学運営にかかる学内組織が、特定の事業を遂行するために、広くご寄附を募っています。2025年7月現在、下記の11の事業でご支援をお願いしています。各事業の詳細は、神戸大学基金ウェブサイトをご覧ください。

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| ① 出版会出版基金 | ⑦ ダイバーシティ基金 |
| ② 医学部附属病院あじさい基金 | ⑧ 外国人留学生教育支援事業募金 |
| ③ 附属学校部教育研究基金 | ⑨ 医学部保健学科・大学院保健学研究科教育・研究基金 |
| ④ 海洋底探査研究支援基金 | ⑩ MBA多様性推進基金 |
| ⑤ 数理・データサイエンスセンター教育研究支援基金 | ⑪ 医学部附属病院国際がん医療・研究センターしおさい基金 |
| ⑥ 計算社会科学センター研究支援事業募金 | |



クラウドファンディング

教員や研究チームが特定の研究プロジェクトを進めるために、また学生団体が何らかの目標を達成するために、クラウドファンディングによって広く資金を募集することがあります。一定の基準を満たし大学が承認したものは、民間のクラウドファンディング受託会社が運営するウェブサイト上に、神戸大学の名称を附して掲出します。ご協力いただけますと幸いに存じます。これまで実施したクラウドファンディング事業の実績は次の通りです。(年月は募集期末)

- 2019年6月 海洋底探査センター「地震を起こす海底活断層を、大阪湾全域で探査する！」
- 2020年12月 医学研究科教員「トリプルネガティブ乳がん 再発を防ぐ治療薬、確立のための臨床試験を」
- 2021年4月 工学研究科教員「涙で乳がんを検出する！研究を加速させる一歩にご支援を」
- 2021年10月 体育会サッカー部「創部100年の歴史をつなぐ！神戸大学サッカー部の本気の挑戦！」
- 2022年5月 交響楽団「コロナに負けず音楽を奏でたい！神戸大学交響楽団にご支援を」
- 2022年8月 学生フォーミュラチームFORTEK「神戸大学学生フォーミュラチームの挑戦！全国大会での上位入賞を目指す」
- 2023年8月 海事科学研究科教員「スナメリの未来を救え！大阪湾で生きるスナメリが人と共存するために」
- 2024年7月 医学研究科教員「造血幹細胞研究 新しい骨髄移植技術開発で子どもたちに“治る未来”を」



神戸大学基金による支援・助成実績(2024年度)

神戸大学基金に皆様から賜りましたご篤志を、学生等への直接的な支援事業をはじめ、大学が進めるさまざまな活動の遂行に役立てています。2024年度は、次のような使途に使わせていただき、学生の学修・研究および学生生活の環境整備と、本学に求められる学術研究の進展や社会貢献の充実に努めました。

■ 基盤事業・修学支援事業に

冠奨学金

21,690,000円

学生への経済的支援、有為な学生の育成、起業マインドの醸成などを目的に、卒業生や企業・個人の方からお寄せいただいた冠奨学金を、学生44人に給付しました。

課外活動等への助成

26,060,222円

公認団体の大会参加費・遠征費など延べ37団体に約410万円を助成しました。また、被災地等でのボランティア活動参加学生に交通費など約325万円を給付しました。さらに、特定のクラブ活動の物品購入や練習環境の充実に使途を限定した約1,871万円のご寄附を、それぞれの団体に支給しました。

困窮学生への修学支援

12,950,000円

不慮の出来事で学業の継続と学生生活の維持に困窮が生じた学生5人を対象に1人あたり25万円を、学業優秀かつ経済的支援を必要とする学部新入生78人を対象に1人あたり15万円を給付しました。

海外学生受入れ・派遣への支援

26,540,000円

国際交流の活発化および国際化対応を目的に学部および大学院で学び研究する外国人留学生への支援として給付しました。また、グローバルセンスを磨き、国際的競争力を身につけ、学修・研究に役立てるための留学等を支援することを目的に、海外へ派遣する学業優秀な学生への給付を行いました。



新築中の情報価値創造教育棟（仮称）

■ 使途を特定する事業に

前ページでご紹介した事業・活動を主管する部局が、それぞれの事業目的を達成するために活用し、ご支援を寄せいただいた皆様のご期待にお応えできるよう尽力しています。

■ 神戸大学創立120周年記念事業に

2023年度までに賜った記念募金へのご寄附を、新しい価値を創造する世界トップクラスの研究総合大学を目指すための諸事業・活動に活用しています。

ご支援いただきありがとうございました

寄附者からのメッセージ



家族が、神戸大学で多くのことを学びました。また、たくさんの友人を得て、人生の糧となっています。将来の目標に向かって、鋭意頑張ってください。

後輩たちがよりよい環境で研究活動や学生生活が行えるよう、微力ですが貢献できればと思います。

思い出深い学生生活を過ごした神戸大学と、神戸大学で学ぶ学生の皆さんを応援しています。少しでもお役立ていただければと思います。

神戸大学を卒業したことが私の活力の源泉であり、誇りでした。魅力的な大学です。母校のさらなる発展と優秀な人材の輩出に期待します。

学生からのお礼のメッセージ

海外留学のサポートをいただき、約5週間イギリスで教育や子育て支援の制度を学びました。教育機関での実習などでかけがえのない出会いや知見を得たこと、文化や言語の面で多くの経験を積んだことは、一生の思い出となりました。私費だけではできない体験が可能になったのは、皆様からのご支援のおかげです。

2024年夏のグローバルチャレンジプログラムに参加する準備の出費がかさみ困っていました。その折りに奨学金をいただいたことで、急上昇した食費などの生活費が助かり、ありがたかったです。皆様のように将来、困っている人を助けることができる人になれるように頑張ります。

奨学金をいただいたことに感謝し、卒業後は経済的な問題で困っている後輩を支える側に立ちたいと考えています。本当にありがとうございます。

神戸大学基金からの奨学金を学費に充て、学業に専念できました。おかげで興味があった船舶の構造やエンジンに関する知識をたくさん得ました。学年が上がり、より発展的で専門的なことを学ぶことが楽しみです。

修学支援をしていただきありがとうございました。母子家庭であるうえ兄弟もいるので、生活費や学業にかかる費用は自分で用意するしかありません。私は奨学金を使って、将来の就職や自分のスキルアップのためにTOEICとFPを受験しました。

＝ One Kobe Familyの旗のもと神戸大学を応援します ＝

神戸は、幕末の開港のときに日本の文明開化の窓口となった街です。また神戸港は世界で活躍した日本人を送り出した歴史を持ちます。そのような国際都市・神戸で伝統を築いた神戸大学で学生生活を送ったことを、私は誇りに思っています。諸先輩から受け継いだ進取の気風、開放的で国際感覚に富む考え方、学究を深め真理を探究する姿勢、またビジネスマインドや社会的リーダーシップの醸成など、私の人生におけるベースは神戸大学で培われました。

現在の神戸大学は世界を意識し、さまざまな分野においてトップレベルの学術的成果を目指しています。母校が日本の高等教育・研究を牽引し、世界に伍する存在として一層力強い姿になることを期待してやみません。神戸大学を母校とする皆さん、また神戸大学をご支援くださる皆さんとともに、神戸大学基金を通じ母校と後輩への応援を続けてまいりたいと思います。



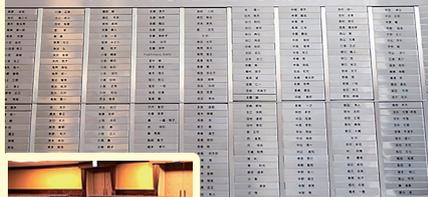
神戸大学校友会会長
坂井 信也さん
(神戸大学経済学部1970年卒業/
阪神電気鉄道株式会社名誉顧問)

感謝の気持ちを末永く

神戸大学基金の特定の事業に一定額以上のご寄附をいただいた方は、ご芳名を出光佐三記念六甲台講堂に掲出し、末永く顕彰いたします。また、一定の条件に達した方は、同講堂内の座席にご芳名の銘板を設置します。



神戸大学基金寄附者銘板



● 出光佐三記念六甲台講堂内の壁面及び座席の銘板



● 1935(昭和10)年に神戸商業大学講堂として竣工。国登録有形文化財

神戸大学基金フェロー

暦年(1～12月)に一定額以上のご寄附をいただいた方には、「神戸大学基金フェロー」の称号と記念品を贈呈します。神戸大学への忌憚なきご意見を拝聴するとともに、本学の現状や方針についてご説明し、学長はじめ大学執行部との懇親を深める会にご招待します。



税制上の優遇措置について

所得税の優遇措置

「修学支援事業」及び「研究等支援事業」を指定するご寄附は、確定申告を行う際に**所得控除**または**税額控除**のいずれかをお選びいただけます。

※「修学支援事業」及び「研究等支援事業」以外を指定するご寄附の所得税の優遇措置は、**所得控除**のみです。

所得控除 寄附金額(その年の総所得金額の40%を上限とする)から2千円を引いた額が所得税の課税所得金額から控除されます。

税額控除 寄附金額(その年の総所得金額の40%を上限とする)から2千円を引いた額の40%が所得税額から控除されます。(所得金額の25%を限度とする)

《減額される所得税の目安》

例: 給与収入700万円・課税所得400万円の方が3万円寄附した場合

所得控除

$(3万円 - 2千円) \times 20\%$ (所得税率) = **5,600円**

税額控除

$(3万円 - 2千円) \times 40\%$ = **11,200円**

※上記の金額はあくまでも目安です。一定の寄附金額または課税所得金額を超えると、**所得控除**の方が減税額が大きくなります。

個人住民税の優遇措置

神戸大学を寄附金控除の対象法人として条例で指定している都道府県・市町村(兵庫県・神戸市)にお住まいの方は、個人住民税の控除を受けることができます。控除率は総務省ウェブサイト(都道府県・市区町村が条例で指定する団体への寄附金について https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/79172_2_kojin.html)をご覧ください。なお、所得税の確定申告を行う方は個人住民税の申告は不要です。確定申告を行わず、個人住民税の寄附金控除のみを受ける場合、自治体への申告が必要です。

ご寄附の方法



金融機関等でのご寄附

別添の払込取扱票に必要事項をご記入の上、金融機関・郵便局でお振り込みください。

※コンビニエンスストアでは使えません。

※ゆうちょ銀行（郵便局）・三井住友銀行・みずほ銀行・みなと銀行・りそな銀行では、払込手数料・振込手数料はかかりません。

1 払込取扱票にご記入ください。

金融機関等の窓口で 10 万円を超える現金振込を行う場合、本人確認書類のご提示が必要です。また、ATM では 10 万円を超える現金振込はできません（通帳またはキャッシュカードをご利用ください）。

2 金融機関・郵便局でお手続きください。



インターネットでのご寄附

『神戸大学基金』のウェブサイト内の、「お申込み方法」のページ <https://www.office.kobe-u.ac.jp/kikin/apply/index.html> をご覧ください。クレジットカード・銀行振込（インターネットバンキング／ATM／窓口）の決済方法をお選びいただけます。

ご利用可能なクレジットカード

お申し込み方法



※ご記入・ご入力いただいたおところ・お名前宛てに領収書をお送りします。金融機関等でのお振込みは入金確認後約3週間、クレジットカード決済をご利用の場合最長で3か月程度かかることがあります。

遺贈でのご寄附

神戸大学にゆかりを持つ方におかれましては、皆様のご遺志に基づく寄贈による相続財産のご寄附を謹んで承ります。後進世代への応援として、大学・大学院での研究発展のサポートとして、社会的活動や国際交流などの活発化の支援として、皆様の思いを神戸大学基金にお托しください。皆様の思いを大切に受けとめ、大学の発展のために活用させていただきます。卒業生・基金課にて、ご意向の確定、相続発生時の税務上の扱いなど、個別のご相談を承ります。

上記以外のご寄附について

- 現金以外の有価証券等のご寄附については、企画部卒業生・基金課にお問い合わせください。
- 書籍・CD・DVDをご提供いただき、買い取り額を神戸大学基金に充てる『神戸大学古本募金』のご利用については、株式会社バリューブックスが運営する「チャリボン」のウェブサイト <https://www.charibon.jp/partner/kobe-u/> をご覧ください。

神戸大学古本募金



神戸大学基金の詳細については、ウェブサイトをご覧ください。

- 【パソコン等】 本学トップページ右上に表示される「 寄附」マークからアクセスできます。
- 【スマートフォン】 右下の二次元コードからアクセスできます。



神戸大学基金は、反社会的勢力と認められる個人・法人・団体、または本学が教育研究上支障があると認める個人・法人・団体などからのご寄附については受け入れを認めず、入金済みの寄附金は返還いたします。上記の理由を除き、本学が受け入れた寄附金は返還いたしかねますのでご注意ください。

神戸大学基金に関するお問い合わせ

神戸大学企画部卒業生・基金課

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

TEL: 078-803-5414 (平日9時~12時、13時~17時) FAX: 078-803-5024

E-Mail: kikin@office.kobe-u.ac.jp

<https://www.office.kobe-u.ac.jp/kikin/>

神戸大学基金

